ハンドマイク街頭演説原稿例　コメ高騰対策、増産と予算増額を

二〇二五年五月三十一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　何もかも値上がりが続いていますが、特にお米の値段が高止まりしています。家族の多いご家庭や、食べ盛りのお子さんのいるご家庭では、特に負担が重いことと思います。

　小泉農林水産大臣は、「５キロ２千円で６月初旬店頭に並べたい」ということで、備蓄米を随意契約で、国が売り渡し価格を決めるという、今までにないやり方によって、これまでの半額で直接売り渡す対策を打ち出しました。今までお米の価格を市場任せにすることにこだわり続けてきた、自民党の農業政策が破たんしたというべきではないでしょうか。コメ高騰をどう解決するか。緊急の対策も必要ですが、同時にお米の生産量を増やし、将来にわたって安定的に供給できる状況をつくりだすことが必要だと、日本共産党は考えています。

　備蓄米の売り渡しは始まっていますが、年間のお米の需要に対して少ないうえ、売り渡し先が一部に限られており、消費者に混乱なく行き渡るかは、まだわからない状況です。特に学校給食や医療・福祉施設、フードバンクなど困窮者に届くような手当てを考える必要があります。

　ところでみなさん、今の農業政策は、お米の需要が減る前提に立ち、需要に見合うギリギリの量だけ作る計画を立てて、農家に事実上の減反を押し付けています。そして市場まかせでお米の価格を決める立場をつらぬいた結果、価格が低く抑えられ、お米を作っても赤字になるため、コメ農家が減ってしまいました。それが、今の米価高騰を招いています。

　いま必要なことは、当面の緊急対策と一体に、政府がお米の生産量を増やす方向に切り替えるとはっきり示すことです。

　また、農家がお米の増産に意欲を持つには、再生産可能な販売価格を保つとともに、農家に対して所得補償することが必要です。ヨーロッパなどでも当たり前に行われている政策です。ただ、農家が再生産できる販売価格と、消費者が求める購買価格との間には、どうしてもズレが出ます。ここをどう埋めるか、これは政治の役割です。これらの政策を実現するためには、軍事費の４分の１しかない農林水産予算を、大幅に増やすことがどうしても必要です。日本共産党は、農林水産予算を大幅に増やし、生産農家も消費者も安心な農業政策を実現するため、全力でがんばります。

　みなさん、今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、消費税減税はじめ国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）